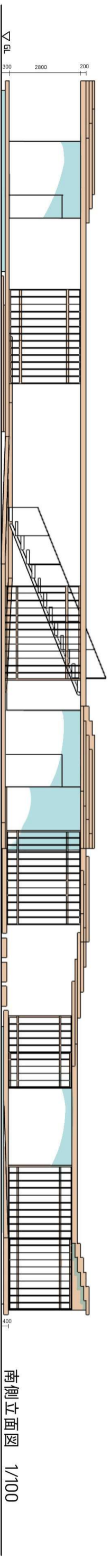
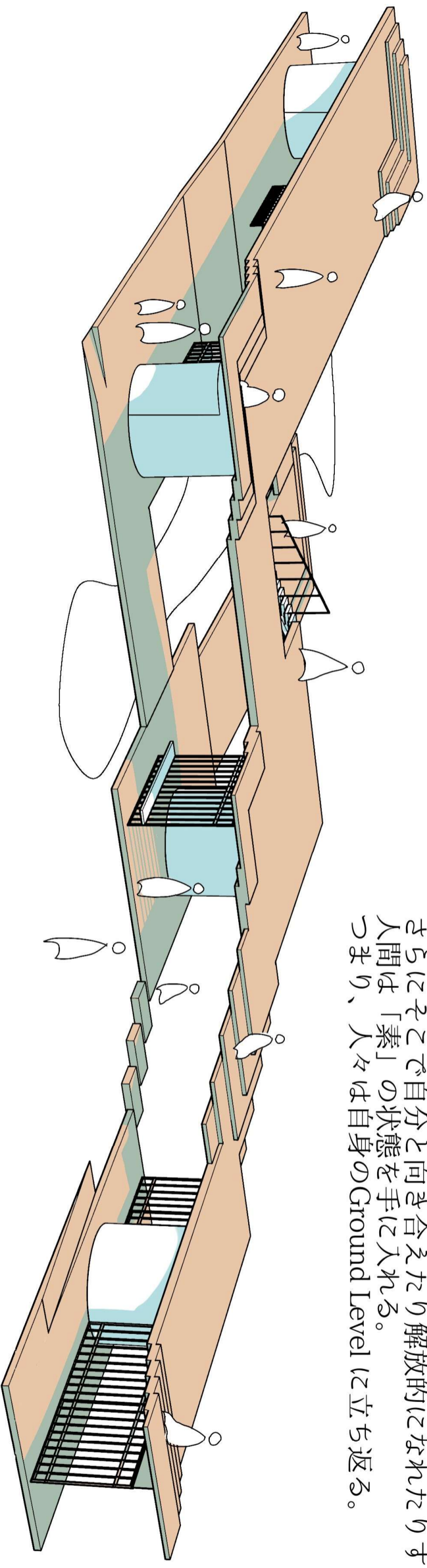


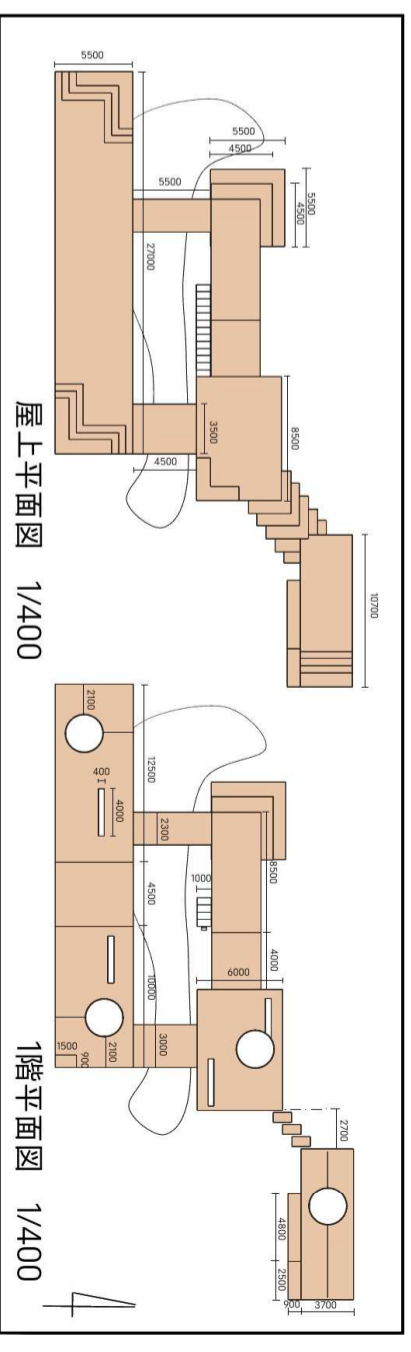
れすとるーぶ

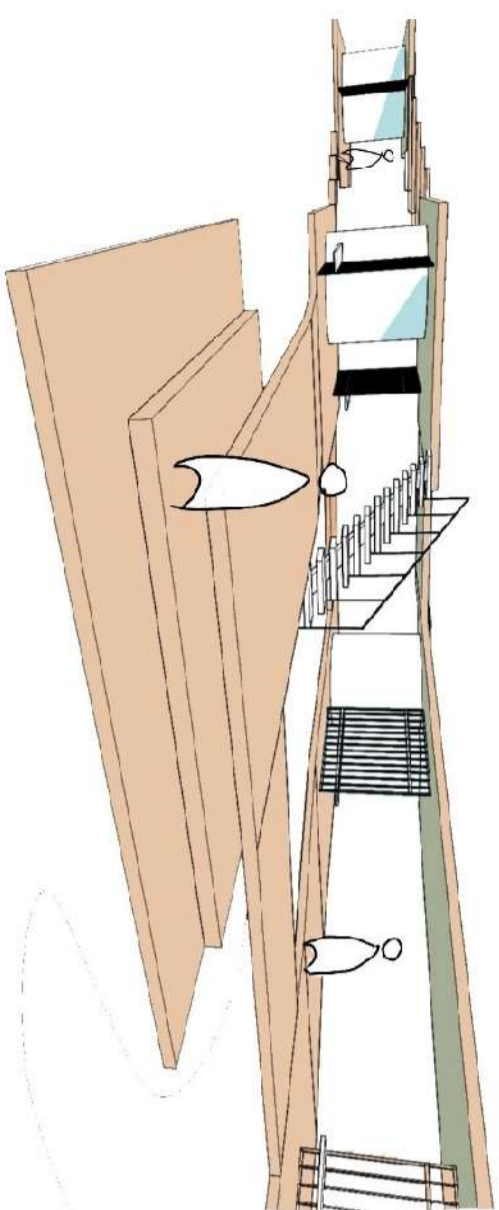
-人々が「素」になれる場所-

生理現象が起こる場であるトイレは象徴的に人間の原点であり、さらにそこで自分と向き合えたり解放的になれたりすることで、人間は「素」の状態を手に入れる。つまり、人々は自身のGround Levelに立ち返る。



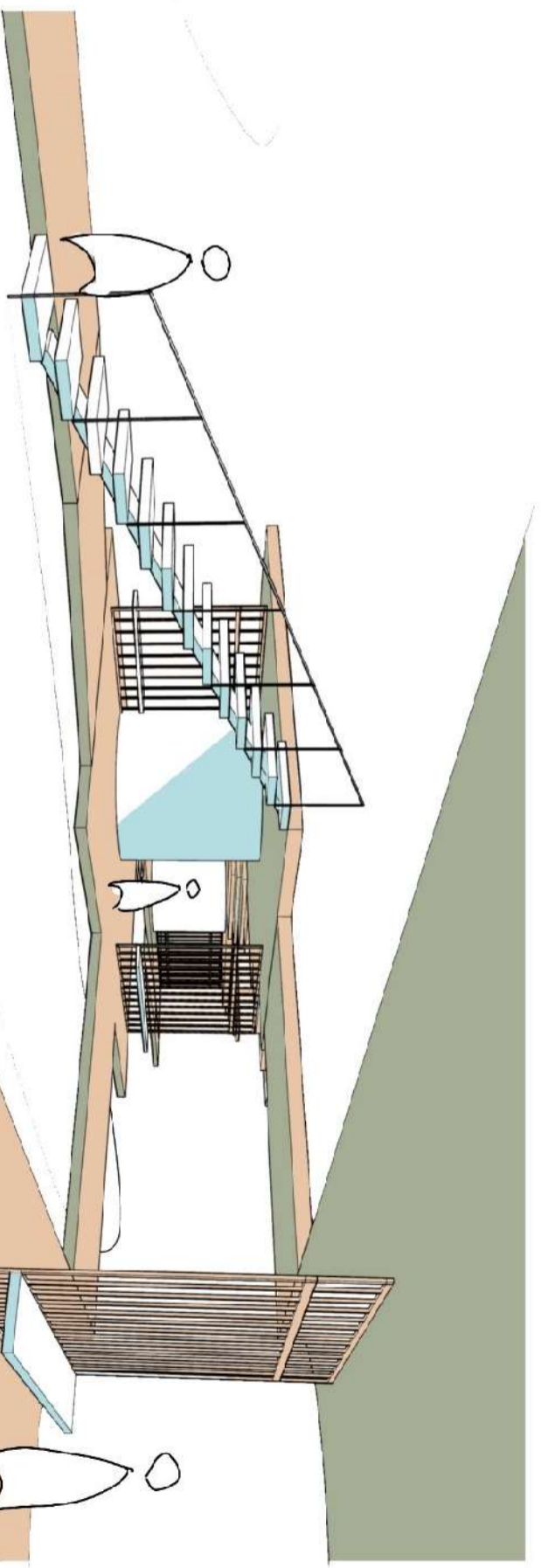
日比谷公園は東京の中心である皇居に隣接し、人間が原点に還る拠点としてふさわしい。





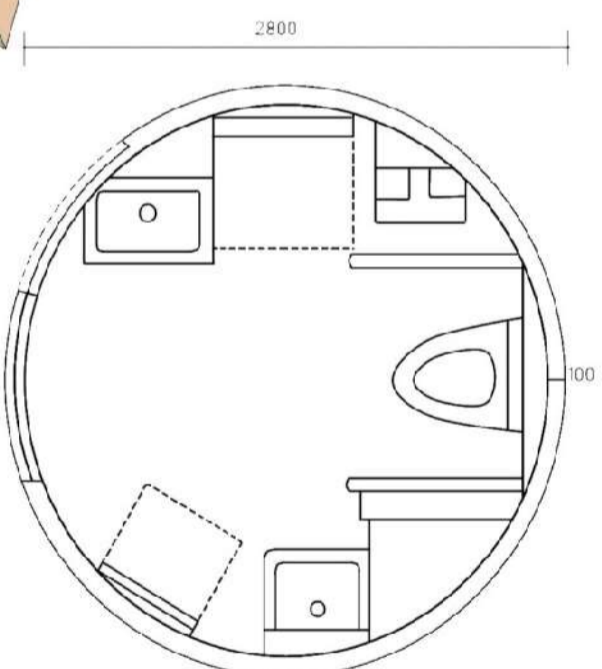
トイレを繋いでデッキと屋根が環状になっており、かつ、トイレの屋根上と地上を歩き来できる。この自由な動線によって人々が解放的な気持ちで動くことができる。

トイレ周辺に設けたベンチや地上に設けたデッキ、屋根の上など、ゆっくり休むことのできる場所が多く、それぞれ見える景色が違うので、人々は自分なりに落ち着く場所を見つげることができる。



雨でも休める空間が日比谷公園には必要である。雨宿りできるだけでなく、中心の窪みに雨水がたまり、水を見て安らぐことができる

多様な人々が訪れる日比谷公園だからこそ、トイレはバリアフリーかつジェンダーレスとする。オストメイトや手すりを設けるだけでなく、子供連れが多い広場の中にあるからこそ、ベビーチェア、着替え台、おむつ台を完備する。



トイレ平面図 1/25

